

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

04-032

因 政(外)外(機) 大務 典房 次次 臣秘官官審審長長

ア経外査即 博 大 察 位 代 使 研 審 準 表

対文会厚情オ 括 審察人 在儀警史

報 官 参 内外

文 長 審 一二

長 政保对旅外

下 長 審地中東 参北東西

米 長 審 二保地

中 南 長 参 一二

欧 長 審西ソ洋 西東

ア 長 参 一二

次 参 経途博

参 参 経 国 安 二

参海 密準

経協 長 審政国開無 参調技有理

審 長 審条協規

国 長 審政経人 審軍社

科 審 科原

情調 長 参情析調 企安

総 番 号 R 2 0 2 3 7 1

主 管

月 9 日  
平成 2 年 1 0 月 9 日

オ マ ー ン 発  
本 省 着

近 1

外 務 大 臣 殿

小 原 大 使

総理の中東訪問（アブドゥラー・サウデイ皇太子との対談）

第 7 0 3 号 極秘 大至急

7日、海部総理は午後1時15分から約30分間アブドゥラー・サウデイ皇太子と対談を行われたところ概要以下の通り（当方オワダ外密、オング大使、ワタナベ局長、コワタ局長、ハタケヤマ局長、末木局長、千野局長、タケナカ参事官、エビハラ近一長ほか同席、通訳ミヤモト）

1. 冒頭「ア」皇太子より、改めて総理の訪問を歓迎するとともに、今後の日・サ関係の更なる発展を希望する旨述べた。
2. これに対し、海部総理より以下の通り述べた。  
日・サ関係はこれまで友好的に推移しており、特に貴国がおん健な石油政策を維持し、日本に対し安定供給を行つていることを評価する。今後とも両国関係を真に相互依存の関係に進めていきたい。今回の訪問は非常に短期間であつたが、昨日ファハド国王から湾がん情勢についてお話していただき、また閣下にもお目にかかれ、実りの多い訪問であつた。
3. 「ア」皇太子より、日本企業は当国経済の発展に大きな役割を果たしており、更に進出してくれることを希望する旨述べた。
4. これに対し総理より、帰国後、日本の企業に貴殿下の御希望を伝えたい、湾がんの平和と安定が一日も早く回復し貴国の安定とはん栄がもたされることを希望する、日本はサウデイの立場を強く支持する旨述べた。
5. （「ア」皇太子より、ラマダーン・イラク第一副首相との会談の様子をたずね越したので、総理より次の通り述べた。）

先方は自分の主張を行ない、当方はイラクのクウェイトからの撤退、クウェイト正統政府の復帰及び全外国

極秘

## 電信写

人の出国についての決断を促したが、議論は平行線であつた。

(「ア」皇太子) イラクは自分が正しいと主張したのか

(海部総理) 歴史的にクウェイトはイラクの一部であり、自分の主張が正しいということだつた。

(「ア」皇太子) 全く頭がおかしいというしかない。

6. 最後に、「ア」皇太子より、サウデイにおける日本の企業活動についてのサウデイ側の希望に関する書類を手交越し、総理より、持ち帰つて検討する旨述べ、会談を了した。

サウデイ、ジェツダ、エジプト、トルコ、ジョルダン、イラク、米、OECDに転電した。(了)